

チーム医療 PBL カードゲームを実施しました。

7月23日(水)13:30～15:30に、岐阜医療科学大学と連携し、チーム医療 PBL カードゲームを実施しました。30名が参加しました。5人が、医師、臨床検査技師、診療放射線技師、薬剤師、看護師のグループに分かれ、それぞれの立場から問診から診断、治療、術後ケアまでをゲーム形式で体験しました。

参加者は与えられたミッションをこなし、診断方法や治療方法についてチームで考え、正解したときには歓声が上がりました。また、医学博士の田中先生より、医学的見地からの解説をしていただきました。2時間があっという間に感じられるほど、密度の濃い探究的な学びとなりました。(以下は参加した生徒の感想からの抜粋です)

・私は看護師志望で今回の講座に参加しました。私は、臨床検査技師の役割でしたが、具体的に何をやる職業なのか知りませんでした。多くの検査があり、そこから診断することが分かりました。1人の患者さんのためにチームとして多くの職業の方が関わっていることに驚きました。

・今回は初対面の人と話し合いながら最適な治療について考えました。実際の医療現場でも初対面の人と仕事をすることがあるので、スムーズに業務をこなすために、コミュニケーションをとることが大切だとわかりました。

・チーム医療について知ることができて、チーム医療が強い病院は患者さんにとってすごくいい病院だということが分かった。

・問診の大切さを知りました。患者さんからの情報で分かることも多いので、これから友達と話すときは、その練習だと思ってよく話を聞いて、重要なところを理解できるようにしていきたいです。

